



## 「TDC若手支援セミナー デンタルナビゲーション」 ～研修医から臨床医へ～

### 医療保険のしくみと日本の歯科医療の現状

日本歯科医師会 保険医療課 社会保険部委員 相庭 常人

卒業後、まだ比較的年数が経過していない若手の先生は、正しい知識と正確なスキルの獲得を目指して日々、臨床にて研鑽しているかと思いますが、日本における歯科医療においてはそのほとんどが保険治療と言われる、いわゆる医療保険（国民皆保険制度）にて行われていることもご理解いただいていると思います。

そこで、今回は、日本の医療保険制度の概略をご理解頂き、さらに日本における将来の歯科医療の展望を考察してほしいと考えました。

日本には世界と比べ秀でた医療保険制度による国民皆保険が成立していることは周知の通りですが、その制度自体がどのように構成されているかは、あまり理解されていないのではないのでしょうか。歯科医療の知識やスキルを習得しても、制度の中でうまく実施できなければ100%の能力を発揮できないでしょう。そのため、若手の先生には、その制度を正しく理解して臨床に望んでほしいことと、また、今後の制度改正においては状況把握を的確に行い、新たに思考するための礎として欲しいと考えております。

更に、今後起こりうる超高齢化社会に対しても漫然と過ごして待つのではなく、歯科界に生じる環境を予想し、それに対して何をすべきかを考えるヒントに繋がればと思っております。迫り来る超高齢化社会において、日本における社会保障制度をより良いものにするため、また、個人の意見を国に伝えるためにも歯科医師会や同窓会を利用しましょう！

概略として、国民医療費における保険料の負担割合、診療報酬における負担金の流れ、保険者の種類、現在の歯科医業の実態、人口動態における今後の歯科界への影響、世界各国との比較等により構成されております。

詳しい講演内容は保険部のページにPDFがございますのでご一読いただければ幸いです。